

海外安全対策情報
2017（平成29）年4月～6月

平成29年7月
在ハンブルク日本国総領事館

1 テロ・治安情勢

（1）当館管轄4州の治安情勢は比較的良好で、具体的なテロ事件の発生も見られませんが、ハンブルク州及びニーダーザクセン州では2016年中のイスラム過激派の勢力拡大が発表されており、またテロ容疑者の国外退去処分や逮捕について、以下のとおり報じられていることから、依然としてテロの潜在的な脅威に対する注意が必要です。

- ・ 4月4日：イスラム過激派1名を国外退去処分（ハンブルク州）
- ・ 6月12日：アルカイダ下部組織のメンバー4名を逮捕（ハンブルク州，ニーダーザクセン州，シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州）

なお、当地ではこれから夏にかけて、スポーツ大会、移動遊園地、フェスティバル等の各種イベントが予定されておりますが、これらイベントの参加者を狙ったテロには十分注意いただき、テロの標的となりやすいイベント会場等を訪れる際には、安全対策に万全を期してください。

（2）ハンブルク州では、G20サミット開催前に警察車両や鉄道線路に対する放火事件等が発生するなど、G20サミットに反対する極左過激派の活動が活発化しております。こうした極左過激派等が参加するデモや抗議活動は、その一部が暴徒化するおそれがあることから、万一デモ等に遭遇した場合には、速やかにその場を離れるなど、ご自身の安全を確保するようにしてください。

2 一般犯罪情勢

ホテル、レストラン、駅、列車等におけるすり、置引きのほか、空き巣や車上ねらい等の窃盗被害が多発しており、邦人被害も依然として見られますので、所持品・貴重品の管理には十分注意してください。外出される際には、自宅の戸締まりを必ず行うとともに、外観上留守宅に見えない工夫を心がけてください（電気の点灯等）。また、歓楽街（ハンブルク州レーパーバーン地区）では、クレジットカード利用者に対する100万円を超える不当請求事案が発生しているため、旅行者や出張者の方は特に注意してください。

3 凶悪犯罪発生状況

邦人被害の事件の発生は、認知しておりません。

4 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は、認知しておりません。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件の発生は、認知しておりません。

6 日系企業の安全に係る諸問題

具体的情報は認知しておりません。